

学校教育目標	教育理念『自立貢献』				
	○自分で解決する力を大切にします。(知・公・開) ○心豊かに生きる力を大切にします。(徳・体)				
学校概要	創立 38 周年	学校長 竹下 恭子	副校長 戸田 緑	2 学期制	一般学級: 15 個別支援学級: 4
	児童生徒数: 583 人 主な関係校: 荏田西小学校 東市ケ尾小学校 市ケ尾小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	市ケ尾中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
言語能力 自分づくりに関する力 持続可能な社会の創造に貢献する力	市ケ尾中学校 荏田西小学校 東市ケ尾小学校	○多様性を認め合い、共に支え合うことができる子ども ○笑顔と挨拶があふれる子ども ・ブロック学校運営協議会で「9年間で育てる子ども像」の実現に向けた取組みを話し合い、実行する。 ・ブロックあいさつ運動等を軸にして、小中の交流、地域との連携を深める。 ・児童生徒指導や特別支援教育の情報交換を推進する。

中期取組目標	○ユネスコスクールとしてESDの視点を重視する教育活動を展開し、関係機関等と連携しながらSDGsを意識した持続可能な学校づくりを全職員で目指します。 ・生徒の学習意欲を高め、主体的な取組ができるように、人やもの社会とのつながりを大切に授業の実践を目指します。 ・自分づくり(生き方、キャリア教育)の視点を教育活動に位置付け、内容を充実させます。 ・人権、道徳教育を基盤とした教育の推進、特別支援教室の効果的な運用など、特別支援教育を推進します。 ・小中ブロックや家庭・地域、行政・NPO等と連携し、地域社会とつながり、積極的に地域に貢献できる力を育みます。
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①ESDとキャリア教育(自分づくり)の視点を重視し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進める。 ②生徒による授業評価や、市や国の学習状況調査結果を分析し、授業改善を図る。 ③校内授業研究会の機会を活用し、指導と評価の研究を進める。
担当	教育課程担当	
徳	道徳教育	①道徳の授業を中心として、互いの良さを学び合う共感的姿勢や考えの交流をとおして、まとめを自己選択・決定できる場面を増やし自立貢献する力を育む。 ②自分の生き方や考え方、行動の仕方について振り返る場面を重視する。
担当	道徳人権担当	
体	健康教育	①食育を含めた望ましい生活習慣について理解し、将来に向けて自ら実践できる力をつける。 ②ICTをより多くの授業で取り入れ、自らの動きを客観的に見てよりよい動きができる力を育む。 ③昨年までの取り組みを継続させ、より安全で活発な活動ができるよう考える機会を増やす。
担当	保健環境指導部	
公開	ESD/SDGs	①ユネスコスクールとして、平和学習とESDの視点を大切にし、SDGsの目標達成に向けた昨年度の取組・成果を基に特別活動や総合的な学習の時間等を中心に取り組み継続・発展させる。②ESDとキャリア教育の視点を重視し、よりよい生き方としての実践的な態度につながる学びを推進するとともに、行政・企業・地域等と協働し、持続可能な社会の創造に貢献しようとする態度・行動力を育てる。
担当	ユネスコ・ESD担当	
いじめへの対応		①毎月の生活アンケートや、いじめ解決一斉キャンペーンのアンケートからいじめの実態把握と未然防止に努め、「いじめ防止対策委員会」を月一回以上開催し、生徒がいきいきと安心して生活できる環境をつくる。②ESDの視点から様々な事象を多面的に捉え、主体的に解決していく姿勢を育てる。③Y-Pアセスメントを年2回行い、生徒の理解に努めるとともに、横浜プログラムを実施して、いじめの起こりにくい風土づくりを行う。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		①メンターチーム研修を定期的開催し、若手教職員の教育実践力を高めていく。②職員共有ファイルやミラーム・GIGA端末(Chromebook)を積極的に活用し、担当者同士のコミュニケーションを図る。③働き方改革の視点から効率的な業務の見直しを図り時間外勤務を減らすとともに、今後の持続可能な部活動について検討する。
担当	教務・メンターチーム	
地域学校協働活動		①小中ブロックでの学校運営協議会で、学校経営方針や生徒の活動について周知する。ブロックで育てる子ども像の実現に向けて、地域や小学校と連携し、学校運営に活かしていく。 ②地域コーディネーターのマネジメントで各種ボランティア・学校行事等で地域の教育力を活用する。
担当	学校運営協議会担当	
特別支援教育		①個別の支援が必要な生徒については特別支援委員会が中心となり保護者と連携し、個別の教育支援計画と個別の指導計画に基づいた指導を行う。②学習ルーム(特別支援教室)を組織的に運営し、一人ひとりの状況に合わせた支援や指導を行う。
担当	特別支援委員会	
生徒指導		①教職員は可能な限り生徒に寄り添い、生徒の些細な変化に気づくとともに気軽に相談活動ができる雰囲気作りを進める。②個々の生徒の状況を教職員全体で把握し、組織的な対応に努める。③インターネットやSNS等のマナーについて、定期的に指導をする。
担当	生徒指導部	
情報教育		①昨年度成功したICT活用による指導法や評価法を、より多くの教科で、活用できるようにしていく。 ②生徒が端末を使用する頻度が年々上がっているため、使用におけるマナーやモラルの指導を、さまざまな教科・場面で横断的に行っていく。
担当	情報・ICT担当	